

## 今週の見頃写真

6月16日編集

### ○深緑の季節となった有峰

有峰も6月中旬になり梅雨の季節となりました。  
5月に比べ有峰の森の緑も一雨毎に新緑から深緑に変わりました。



有峰森林文化村ビジターセンターより猪根山を望む  
(猪根平にて6月16日撮影)

### ○梅雨の晴れ間の有峰湖

6月16日早朝6時有峰ダム展望台より望む有峰ダムの風景です。有峰湖はダム百選に選ばれています。



有峰ダム展望台より有峰ダムを望む (6月16日撮影)

### ○梅雨の晴れ間の薬師岳

薬師岳は標高2926mの立山、剣岳と並ぶ北アルプス立山連峰の主要峰です。7月から本格的な登山シーズンを迎えると多くの登山者がこの名峰を訪れます。



有峰ハウス前駐車場より薬師岳を望む (6/16 撮影)

### ○動物編

#### ○モリアオガエル (無尾目アオガエル科)

生殖場所：地上、樹上

特徴：有峰（標高1000～1300m）での繁殖期は6～7月で、側溝や池（止水）周辺の樹木などの枝先に、白い泡状の卵塊がうみつけられていることが多いです。夜間に産卵が行われることが多いためか成体を見かけることがほとんどありません。

#### ○ニホンザルがモリアオガエルの卵を捕食！

小見線の道路上に座り込みモリアオガエルの泡状卵塊を捕獲して、卵を捕食しているニホンザルを発見しました。道路には泡や食べ残しが放置されていました。ニホンザルにとってこの時期の貴重なタンパク源なのでしょうか？



泡状卵塊が産み付けられたタニウツギの枝先  
西岸線の道路沿いの側溝にて6/15撮影



泡状卵塊が産み付けられたタニウツギの枝先  
西岸線の道路沿いの側溝にて 6/15 撮影



多数の泡状卵塊が産み付けられたヤナギの枝先  
猪根平北電記念館裏の池にて 6/15 撮影



多数の泡状卵塊が産み付けられたサワグルミの木  
(西岸線の道路沿いの側溝にて 6/15 撮影)



泡状卵塊が産み付けられたヤブマオの茎  
(小見線の道路沿いの側溝にて 6/15 撮影)



多数の泡状卵塊が産み付けられたヤナギの枝先  
(猪根平北電記念館裏の池にて 6/15 撮影)

#### ○昆虫編

#### ○アカタテハ (タテハチョウ科)

有峰では、5～10月に見られます。成虫で越冬します。  
提督という名前で知られています。

訪花植物：アザミ類、キク科など

食草：イラクサ科のカラムシ、ヤブマオ、ニレ科のケヤキ、ハルニレなど

(有峰森林文化村多目的広場にて 6/16 撮影)

○植物編

○ミズキ (ミズキ科)

有峰の初夏を代表する樹木の一つです。

有峰では 6-7 月枝先の散房花序に直径 7~8 mmの小さな白い花を付けます。花にはハナアブなどが飛来していました。



グミの花に飛来したアカタテハ (タテハチョウ科)  
(猪根平にて 6/16 撮影)



ミズキ越しに有峰森林文化村ビジターセンターを望む  
(猪根平にて 6/16 撮影)



グミの花で吸蜜中のアカタテハ (タテハチョウ科)

○ヒメアカタテハ (タテハ科)

有峰では、5~10 月に見られます。成虫で越冬します。  
貴婦人という名前で知られています。

訪花植物：ヒメジオンなどのキク科など

食草：キク科のハハコグサ、ヨモギなど



ミズキの花と葉上に静止中のツユムシの一種の幼虫  
(猪根平にて 6/16 撮影)



アカツメクサ (マメ科) で吸蜜中のヒメアカタテハ

○ギンリョウソウ (イチヤクソウ科)

有峰では主に 6~7 月の梅雨時に見られます。腐葉土の上に生える腐生植物です。和名は銀竜草で、鱗片葉に包まれた全体の姿を竜に見立てたものです。

有峰では、この時期、冷タ谷キャンプ場、冷タ谷遊歩道、東西半島遊歩道、砥谷半島遊歩道や猪根山遊歩道などで観察できます。

### ○ニワゼキショウ（アヤメ科）

日当たりのよい道端、草原などに生える北アメリカ原産の多年草（帰化植物）です。有峰では主に6月花期を迎えます。今が花の盛りです。



猪根平の草原に生えるニワゼキショウ  
（森林文化村多目的広場にて6/16撮影）



腐葉土の上に生えるギンリョウソウ  
（冷夕谷キャンプ場にて6/15撮影）



腐葉土の上に生えるギンリョウソウ  
（冷夕谷キャンプ場にて6/15撮影）